

学年	教科	科目	教科書名	副教材名	担当者	単位数
中1	道徳	道徳	改定 新しい道徳 1	なし	学級担任	1単位

1. 授業のねらい

- (1) 望ましい生活習慣を身につけ、節度と調和のある生活をするとともに、自主的、自律的に行動できるようにする。
- (2) 生命の尊さを理解し、かけがえのない生命を大切にできるようにする。
- (3) 自然を愛し、環境の保全に努め、美的情操を深め、感動できる人になるようにする。
- (4) 集団の一員としての自覚を深め、協力し合って集団生活の向上に努めるようにする。
- (5) 勤労の精神を重んじ、社会への奉仕の気持ちを深め、進んでボランティア活動に参加するようにする。
- (6) 世界の中の日本人としての自覚をもって、国際社会に貢献できる人になるようにする。

2. 授業のすすめ方

発見学習や問題解決学習、体験学習、調査学習またグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等のアクティブ・ラーニング型の授業を積極的に取り組み、受動的に知識を蓄積するだけでなく、自己課題を発見し、知識を自ら発見した課題の解決に導き出せるような能動的学習法ですすめていく。

3. 学習上の留意点

- (1) 主題に対する興味や関心を深めて、学習への課題をもち、意欲を高める。
- (2) 資料による話し合いや自分自身を見つめることを通して、道徳的価値の自覚を深める。
- (3) 話し合いをまとめたり、道徳的価値に対する思いや考えを深めたりして今後につなげる。

4. 副教材・参考文献

なし

5. 評価の視点・テスト・課題等

- (1) 数値による評価ではなく、記述式である。
- (2) 他の児童との比較による相対評価ではなく、児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止め、励ます個人内評価として行う。

6. 定期考査

実施しない

7. 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標	
一 学 期	4	0 道徳ガイダンス	道徳的諸価値 の理解 生 きて 働 く 「知識及び技 能」の習得	1 礼儀	
		1 あいさつを交わして		2 法や決まり，権利と義務	
		2 義務について考えよう		3 自分の個性を伸ばす	
		3 自分との付き合い方を考えよう		4 認め合う心・自ら考え責任 を持つ・	
	5	4 いじめのない世界へ		5 安全で健康な生活	
		5 安全な生活のために			6 友情・信頼
		6 友達とともに			7 働くことの尊さ
6	7 働くってどんなこと？	8 社会や公共のために役立つ			
	8 ボランティア活動に参加して		9 郷土のことを考える		
7	9 ふるさとのために	10 かけがえのない命			
	10 いのちを考える	11 郷土のことを考える			
二 学 期	9	11 心に郷土を刻もう	自己を見つめ， 多面的・多角的 に考える学習 「思考力・判断 力・表現力」等 の育成	12 法や決まり，権利と義務	
		12 だれもが気持ちよく過ごせる社会 を目指して		13 集団の中の自分の役割	
		13 よりよいクラス活動を目指して		14 働くことの尊さ	
		14 いきいきとかがやいて		15 思いやり，感謝	
	10	15 その人が本当に望んでいること			16 家族の幸せのために
		16 家族の思いにふれて			17 差別や偏見のない公平公正 な立場で
		17 クラスの生活をよくするために			18 よりよく生きる喜び
	11	18 心の弱さを乗り越えるために		19 希望と勇気，強い意志	
		19 挑戦し続けること		20 心理を探究する	
		20 新しいものを生み出すときに		21 友情，信頼	
	12	21 情報モラルと友情		22 国際理解，国際貢献	
		22 世界の人々とつながる			
三 学 期	1	23 公共の精神とは	道徳的な判断 力，心情，実践 意欲と態度（諸 様相）を育てる 「学びに向か う力・人間性」 等の涵養	23 社会や公共のために役立つ	
		24 自然の力と向き合って		24 美しいもの，気高いもの， 大いなるもの	
		25 人の気持ちが分かる人間を 目指して		25 認め合う心	
	2	26 生きることのすばらしさを感じて		26 よりよく生きる喜び	
		27 自然とつながりを考えよう		27 自然を守る	
		28 日本の伝統文化にふれて		28 我が国のことを考える	
		3			